

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	トマト20 a、ほうれんそう10 a、水稻150 a
自家労働	2.0人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次							◎	—	□	□	□	□	□

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、□トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利率
作業場兼農機具庫	木・瓦	30 m ²	1,890,000	11	210,000	210,000	15	14,000	8	98,000	100	3,920
雨除ハウス	6m×50m	7 棟	10,306,800	100	10,306,800	10,306,800	10	1,030,680	5	5,153,400	100	206,136
トラクタ2WD	25ps4WD	1 台	2,870,640	11	318,960	318,960	7	45,566	4	136,697	20	1,094
ロータリ	160cm	1 台	475,200	11	52,800	52,800	7	7,543	4	22,628	20	181
動力噴霧機	6ps	1 台	281,880	70	197,316	197,316	7	28,188	4	84,563	100	3,383
かん水ポンプ	2.2ps	1 台	759,200	70	531,440	531,440	7	75,920	4	227,760	100	9,110
管理機	3.5ps	1 台	223,650	70	156,555	156,555	7	22,365	4	67,095	100	2,684
軽トラック	660cc	1 台	1,050,000	11	116,667	116,667	4	29,167	2	58,333	100	2,333
合計			17,857,370		11,890,538	11,890,538		1,253,428		5,848,477		228,841

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
トマト	りんか409 (台木:グリーンフォース)	雨よけ・夏秋	11,000kg	水田転換畑	20a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
耕起	4/下	セルカ2号	100kg	ロータリ		2.0	1	2.0	軽油 6
ハウス被覆	4/上~中	POフィルム		人力			2	24.0	
元 肥 畝 立 て マ ル チ	4/下~5/上	BM苦土重焼燐 スーパー I B S 2 2 2 菜種油粕 珪酸加里特号 シルバーマルチ かん水チューブ	20kg 40kg 90kg 40kg 500m 500m	管理機		2.0	2	26.0	ガソリン 4.0
支 柱 立 て	5/上~5/中	イボ竹 エクセル線 ハウスバンド	1900本 1,000m 5,000m		○1株ごとにイボ竹を立て、最上部にエクセル線、その他はハウスバンドを横にわたし固定する。		2	20.0	
定 植	5/下	苗	1,900本		○1段花房が萼割れし始めた頃、株間50cmで定植する。		2	36.0	
誘引・摘芽・ 摘果	6/中~9/上	テープナー			○生育に応じて誘引し、摘芽は早めに行う。 ○第1,2果房は3~4果、以降は4~5果を残して摘果する。		2	188.0	
ホルモン処理	6/上~8/下	トマトトーン ジベレリン	400ml 120ml		○各花房2~3花開花時に処理する。 ○高温時は空洞果予防のためジベレリンを混用する。		2	40.5	
か ん 水	6/上~9/上			かん水ポンプ	○第2果房開花までは控えめに、以降は天候に応じてかん水する。	25.0	1	25.0	ガソリン 26.0
追 肥	7/上~9/上	OK-F-3	90kg		○2段花房開花時に第1回の追肥を行い、その後各段の開花時に追肥する		1	3.5	
摘 葉	8/上~9/下				○病気の葉やムレ葉を取り除く。		2	80.0	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (%/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
病虫害防除	6/上～9/下	ダイジノ粒剤5 ダントツ粒剤 ダコニール1000 ラノテープ カスミンボトマー アキ乳剤 スミレント水和剤 ウララDF ダイアメリットDF コルト顆粒水和剤 プロボース顆粒水和剤 ロブテール水和剤 スピノース顆粒水和剤 スタークル顆粒水溶剤 ベルカートフロアブル プレハソフロアブル5 ホソサイト水和剤80 アフェットフロアブル アファム乳剤	4kg 1900g 200ml 10㎡ 200g 100ml 200g 100g 266g 100g 400g 400g 40g 67g 100ml 200ml 250g 100ml 100ml	動力噴霧機		12.0	2	12.0	ガソリン 20.0
収穫・出荷	7/下～10/下	タンボール他	2,750ケース	軽トラック	○共同選果場利用	10.0	2	276.0	ガソリン 10.0
後片付け	10/上～11/上				○残さはほ場外へ持ち出し処分する。		2	70.0	
堆肥散布	11月上旬	堆肥	2t	トラクタ		4.0	2	12.0	軽油 12
合 計								815.0	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	3,150,000	生産量①：10,500 kg 単価②：300 円/kg	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	3,150,000		
生産原価	種 苗 費	307,800		
	肥 料 費	60,859	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	68,903	〃	
	諸 材 料 費	95,257	〃	
	動力光熱費	13,783		
	農 具 費	28,308	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	96,324	建物・構築物負担価額×1%、ビニール更新費	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	14,900		
	雇 用 労 賃	38,790		
	減価償却費⑤	626,714	別表のとおり	
	土地改良費	1,970		
	支払地代⑥	0		
	小計 (B)	1,353,608		
費	販売費一般	出荷資材費	252,000	
	管理費	販 売 諸 費	1,054,200	
		諸税負担金	9,041	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	16,943	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	1,275	借入資本利率2%
		小計 (C)	1,333,458	
経 営 費 (D)	2,687,066	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	1,129,310	農 従 労 働 時 間： 849.9 生産管理労働時間 18.8 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	3,816,376	主産物単位当たり 363 円/kg 注) (E) = (D) +⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	63,768	注) ⑨= ((E)-⑤-⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	114,420	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	11,000			
全算入生産費 (H)	4,005,564	生産物単位当たり 381 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	462,934	時間当たり 533 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	15	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-855,564	注) (K) =③- (H)		
家族労働報酬 (L)	273,746	時間当たり 315 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-666,376	注) (M) = (I) -⑧		

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
堆肥散布・耕起											2.0																										14.0			
ハウス被覆										12.0	12.0																											24.0		
元肥・畝立て・マルチ												13.0	13.0																									26.0		
支柱立て・誘引ヒモ張り													5.0	15.0																								20.0		
定植															36.0																							36.0		
誘引・摘芽・摘果																4.0	16.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0												188.0			
ホルモン処理																4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5													40.5			
かん水																2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5												25.0			
追肥																			0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5													3.5		
摘葉																						4.0	4.0	4.0	4.0	32.0	32.0												80.0	
病害虫防除																1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0											12.0		
収穫・出荷																						45.0	50.0	58.0	45.0	58.0	32.0	32.0	13.0	13.0	8.0								354.0	
片付け																												5.0	5.0	30.0	30.0									70.0
																																							0.0	
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
																																								0.0
計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	12.0	15.0	18.0	15.0	36.0	8.0	12.0	24.0	32.5	32.5	77.5	86.5	94.5	81.5	90.0	65.0	65.0	18.0	18.0	38.0	42.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	893.0		